



『和泉市立総合医療センター
地域医療連携推進の会'21』開催報告

令和3年11月13日(土)、和泉市立総合医療センターの講堂に於いて、「和泉市立総合医療センター 地域医療連携推進の会'21」を開催いたしました。お忙しい中、ご参加くださいました皆様に心より御礼申し上げます。

当日は、消化器外科、循環器内科、泌尿器科、呼吸器外科、リウマチ膠原病内科の医師より各科の取り組みや特徴などについて発表させていただきました。

この会をきっかけに、地域の皆様とより良い連携を目指し、患者様第一の医療を提供するために精進していく所存でございます。

至らない点があるかとは思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しく願い申し上げます。



令和4年1月 No.172

地域連携センターだより

発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター (毎月1回発行)
電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513



～ 専門・認定看護師のご紹介 ～

TOPIC | ご紹介患者数のお知らせ
2021年4月～9月

たくさんのご紹介をいただき、誠にありがとうございました。これからさらに多くのご紹介をいただけるよう、鋭意努力してまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

診療科	患者数	診療科	患者数
消化器内科 (内視鏡)	854	脳神経内科	241
呼吸器内科	695	消化器外科	204
歯科口腔外科	590	脳神経外科	203
放射線科	583	婦人科	180
整形外科	462	腫瘍内科	177
総合内科	410	形成外科	157
小児科	402	血液内科	144
耳鼻いんこう科	401	呼吸器外科	78
循環器内科	393	腎・透析内科	72
泌尿器科	316	乳腺外科	65
皮膚科	263	救急科	35
肝胆脾内科	262	眼科	34
リウマチ膠原病内科	262	精神科	31
内分泌・糖尿病内科	260	心臓血管外科	14
総数	7,788		

お知らせ

耳鼻いんこう科外来よりお知らせ

耳鼻いんこう科外来の診療体制変更に伴い、令和4年1月より初診・再診ともに完全予約制とさせていただきます。

受診を希望させる際は地域連携センターを通じてご予約ください。紹介状持参の上、受付時間内に来院された場合も診察させていただきますが待ち時間が生じること、また診察状況によっては後日の受診をお願いする場合がございますので併せてご了承ください。

地域の医療機関関係者の皆様方には多大なるご不便ご迷惑をお掛けしますが、地域の中核病院として医療提供体制の維持を図るための苦渋の決断であることをご理解いただきますようお願い申し上げます。

お知らせ

医師入退職のお知らせ

2021年12月末をもちまして、
乳腺外科 高田 晃次 医師が退職し、永森 瑞城 医師が着任しております。
泌尿器科 玉井 健太郎 医師が退職し、國重 玲紋 医師が着任しております。
今後とも宜しくお願い致します。

1月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ(休診案内)をご確認いただくか、地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



和泉市立総合医療センター 地域連携センター
月～金曜日 9:00～19:00まで
土曜日 9:00～13:00まで
(但し祝日・年末年始の休日は除く)
TEL:0725-41-3150 (直通)
FAX:0725-41-2513 (直通)



がん看護専門看護師
谷口 麻帆

～お仕事紹介～

週1～2回、看護外来を担当し、がん患者・家族の意思決定支援や心理ケアを中心に行っています。困難事例に対しては、がん患者・家族が抱える問題が解決出来るように、病棟でカンファレンスや多種職連携を行う等、横断的に活動しています。

～目指したきっかけ～

新人の頃に、認定看護師にいろいろなケア方法を教えてもらい、将来は専門看護師の資格を取りたいと考えるようになりました。看護実践の中で、がん患者・家族が抱える問題は複雑で答えがないと感じ、そのような患者・家族を少しでも支えることができればと思い、がん看護専門看護師を目指しました。

～モットー～

関わった人に関わってもらって1つでも良かった、前向きになったと思ってもらえるように、笑顔で丁寧に関わるように心がけています。

～医療関係者の皆様へ～

がんと診断されることにより、患者・家族の生活は一変します。地域の連携を密にすることにより、がん患者・家族を共に支援していきたいと思っております。



新年のご挨拶

謹んで初春のお慶びを申し上げます。当院は2018年に新築移転して、本年4月には5年目を迎えることになりました。地域の先生方のお力添えをいただきまして幸いにも順調に運営されております。

新築移転以降の当院の3つの主な目標のうち、国の地域がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療連携病院の指定は、昨年承認されました。またもう一つの目標である地域医療支援病院は手続きが順調に進み、早ければ今春にも承認される見込みとなっています。残る1つのDPC特定病院群は初期臨床研修医数の要件のみがまだ基準を満たしておりません。しかし毎年の研修希望者はたいへん多く、そう遠くない時期に定員数の増員が許可されて、DPC特定病院群に認定されると期待しています。

現在、医師数は常勤121名、診療科は33科であり、多くの外来・入院の患者さまの診療に従事させていただいています。公表されている令和元年度の泉州2次医療圏のDPC病院の患者数では、呼吸器系、血液系が1位、筋骨格系、皮膚系、小児系がそれぞれ2位、内分泌系が3位と、和泉市

に限らず広く二次医療圏の患者さまに受診いただいています。特に呼吸器系は呼吸器内科、腫瘍内科、呼吸器外科がチーム医療を行うことで本領を発揮し、患者数は大阪府下においても上位に食い込み、当病院の強みの1つであります。

一方、今年度から外来機能報告制度が開始されます。急性期病院の外来は、医療資源を重点的に活用する外来（手術前後の外来、高額医療機器などを必要とする外来、特定の知見を必要とする紹介外来など）や救急外来に特化して、病院の本来の役割である入院医療に医療資源を集中させるという制度です。今後は各医療機関が役割分担に応じていっそう連携を強くし、紹介・逆紹介を円滑にして、地域全体で患者さまの診療に当たることが一段と強化されるようになると思われます。地域医療支援病院の役割とも一致いたします。今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

総長 村上城子



新年のご挨拶

令和4年の年頭にあたりご挨拶申し上げます。新生“和泉市立総合医療センター”は4回目の正月を迎えましたが、この間、順調に発展してまいりました。この2年間は、新型コロナウイルス患者の対応に積極的に取り組んでまいりましたが、通常医療への影響も最小限にとどまり、入院患者の稼働率は90%を超え、外来患者数も1000人を超える状況となっています。ひとえに地域の皆様のご支援のお陰と心から感謝申し上げます。当センターにとりまして、令和3年の重大事としましては、4月1日付で厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けたことがあげられます。大阪府では17番目、泉州医療圏では2番目の指定となりました。厳しい指定要件を充足することができたのは、職員の努力に加えて地域医療機関の協力があったことだと思っています。この指定は大変光栄なことではありますが、その責任は重大で、泉州医療圏のがん患者さんが高度で最良の医療が受けられるよう全力を尽くしてまいります。さらに、8月には「がんゲノム医療連携病院」にも指定されました。次世代シーケンサーを用いた遺伝子パネル検査を実施し、その結果をがん

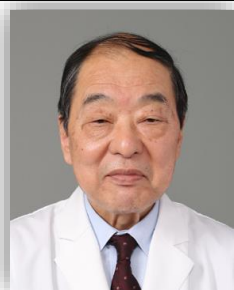
患者の個別化治療（プレジジョンメディシン）に結び付ける医療です。地域の医療機関からもゲノム医療を希望されるがん患者さんがおられましたら、適切に対応させていただきますのでご紹介ください。昨年とはまた、病院機能の要となる病理部門を強化しました。常勤病理医が3名となり、デジタル病理を導入しました。病理標本のデジタル画像化は、日常臨床への応用だけでなく、遠隔病理によるコンサルテーションなど質の高い病理診断が可能となります。泉州医療圏の病院間の病理カンファレンスも開始しています。このように当センターは着実な進歩を遂げています。今後も地域医療機関との連携を充実し、住民に最先端で最善の医療を提供すべく最大限の努力をしております。一層のご支援をお願いいたします。

名誉総長 福岡 正博



和泉市立総合医療センター 総長 小児科 村上 城子 (むらかみ せいこ)

〈資格〉
日本小児科学会専門医 同指導責任医 / PALSプロバイダー
日本小児科学会代議員 / 子どもの心の相談医 / 大阪小児科学会運営委員
日本感染症学会ICD認定医 / 大阪小児科医会副会長
大阪市立大学医学部臨床教授 / 和泉市医師会理事



和泉市立総合医療センター 名誉総長 腫瘍内科 福岡 正博 (ふくおか まさひろ)

〈資格〉
医学博士 / 近畿大学名誉教授 / 日本内科学会認定内科医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医 / 日本呼吸器学会指導医・専門医
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医